

事業所名

ワナビー城南

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

11月

26日

法人（事業所）理念	子ども達が社会で活躍できる支援をします。										
支援方針	学校生活が円滑に過ごせるように支援を行います。 宿題を行う、友達と遊ぶ、お手伝いをする、お出かけを行うなど、子ども達が置かれている環境での活動経験を増やし、子ども達が自立し、自ら考えて活動する能力が向上するように支援を行います。										
営業時間	10	時	00	分から	18	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	学校生活・日常生活が自立して活動することを目的として支援を行います。 スケジュールの把握・荷物整理・手洗いやうがいなどの日常生活、宿題を行う・他の子どもと一緒に活動するなどの個人・集団活動の経験を増やし、子ども達が自立して活動する機会・経験・能力が向上する支援を行います。									
	運動・感覚	公園で鬼ごっこを行う・鉄棒・ボール遊びなどを通じて、身体の使い方や筋力の向上する支援を行います。 また、室内では粘土・LaQ・ゲームなど指先を使う機会を増やし、巧緻性が向上する支援を行います。									
	認知・行動	学校生活・日常生活における各場面を想定し、時間ごと活動を行い、切り替えや見通しを立てる支援を行います。 また、各場面における子ども達の気持ち・優先すべき行動について理解を深め、経験を積む支援を行います。 必要に応じて、個別・小集団によるソーシャルスキルトレーニングを行い、集団生活に適應する練習を行います。									
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちを言葉で伝えられる練習を行います。必要に応じて、言葉を代弁したり文字で表したりするなど、コミュニケーションを行う機会や手段を増やすことを行います。また、ソーシャルスキルトレーニングを行い、言葉で伝える練習を行います。									
	人間関係 社会性	室内遊び・公園遊び・お出かけなど、子ども同士が関わる機会を増やします。また、子ども達の人間関係構築が円滑になるように、ソーシャルスキルトレーニングを行ったり、スタッフが小集団に誘ったりする機会を増やし、社会性が向上する支援を行います。									
家族支援	チャットワークスを保護者ごとに作成し、気軽に相談できる体制を整備。 「事業所で宿題を終え、家で宿題をさせない」をモットーに、全スタッフが事業所の姿勢として実施。					移行支援		保育所等訪問支援を行い、円滑に学校や地域に移行できる体制を整備。			
地域支援・地域連携	商工会議所の青年部に所属し、必要に応じて地元のボランティア活動に参加できる体制を整備。					職員の質の向上		月1回の研修・全体会議を定例。外部研修の参加費も必要業種や勤務時間にに応じて、事業所負担する体制を整備。			
主な行事等	公園遊び、1日お出かけイベント。										